

創立73周年
令和5年度10月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



心も体も動かす

園長 北村 恵

日中は暑い日が続いていますが、朝晩はやっと少し涼しくなってきました。園庭や校庭では、たくさんのトンボが飛び回るようになり、時々オニヤンマかな、と思うほど大きなトンボに出会うこともあり驚かされます。涼しくなったことで、子供たちの「体を動かしたい」という気持ちも高まっているようで、小学校の体育館や、校庭、屋上ドームに出かけることを楽しみにしています。

先日、3歳児と一緒に地下の体育館に行ってきました。階段を降りる姿も大分しっかりしてきて、一段ずつ足をとんとんと運び、降りられるようになった子供も増えていました。みんなでかけっこをした後は、ボールやフープを自由に使って遊んでいました。Aちゃんはフープを持って先生を追いかけています。気付かれずに近付いて、先生を捕まえられるととても嬉しそうな笑顔がみられました。Bちゃんは真剣な顔でバスケットゴールめがけてボールを投げ、入った数を数えていました。3歳児なのにゴールに入れられたことに驚きました。フープをたくさん並べていたCちゃんは「あのね、ここから出ちゃったら負けなの」と言って、なぜかカニのように難しい横跳びを連続し、最後まで渡り切り「できた！」と言って何度も繰り返していました。白いジャンボマットを広げておくと、フープを繋げて電車ごっこをして走っていた3人の子供たちがやってきて、マットの上に乗ると「雪みたい」と言って雪を投げる真似をしたり、「雪だるま作ろう！」と雪だるまを作る真似をしたりし始めました。

4歳児は「探検隊」と称し、朝一番に5階の屋上まで昇り、ドームをいっぱいを使って鬼ごっこを楽しんでいました。たくさん動いて汗をかいてそろそろ疲れたから幼稚園に戻ろうかと言っていた時に何匹かのトンボが飛んできて、みんなで追いかけ始めました。さっきまで「疲れた！」と言っていたDちゃんも力いっぱい追いかけていました。以前にみんなで、指にはめられるようなトンボを作った時にも、出来上がった途端に園庭に出て、作ったトンボと一緒に自分たちもトンボになったように走り回っていた姿を思い出しました。

今5歳児の保育室には、跳び箱や大縄、短縄、鉄棒が置いてあります。跳び箱の8段によじ登ることに挑戦している子供、大縄や短縄で何回跳べるか限界に挑戦している子供、友達の様子に刺激を受けて、今までやったことのない鉄棒の技に挑戦している子供、など、どの子の顔も真剣で輝いています。時々、うまくいかずに悔し涙を流している場面に出会うこともあります。

誰かに強制されたわけではなく、自分の気持ちが動いたことで、自然に体をたくさん動かす姿へとつながっています。14日の運動会では、体を動かすことが大好きな、日頃の姿を伸び伸びと表現してくれるのではないかと期待しています。ぜひ皆様で応援にいらしてください。